

【事業概要】JFA ころのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」 in 豊田

(1) 「夢の教室」

夢の教室は、「子どもたちの心身の成長に寄与したい」という主旨で、(公財)日本サッカー協会(JFA)が平成18年に立ち上げたプロジェクトです。サッカーの現役、OB/OGに限らず、多種目の現役アスリートやそのOB/OGの力を得て、彼らを「夢先生」として小学5年生の授業に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行います。この教室は体育の授業ではなく、夢先生が、「夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ」、「仲間と助け合うことの大切さ、相手を思いやるころ」等について伝えることを目的とし、全国約120の自治体で開催しています。

(2) 全国初 産学官四者連携による実施体制

豊田市では、多くのトップアスリートが、中京大学やトヨタ自動車(株)をはじめとする学校法人や企業、団体に所属しています。この特徴を活かし、JFAが全国で展開する「夢の教室」をベースとし、JFAから派遣されるアスリートに加え、中京大学やトヨタ自動車(株)等に所属するアスリート・パラアスリート、そして市内企業に従事する社会人や消防士らを「夢先生」として派遣することで協力する独自の体制を構築しました。本事業は、平成26年度に市内小学校3校10クラスでスタートし、平成27年度からは中京大学・トヨタ自動車(株)・JFAとの全国初の産学官四者による連携体制となり、『JFA ころのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」 in 豊田』として実施しています。



夢先生プロフィール



くりはら みか
栗原 三佳

大阪府出身、小学校3生の時に姉の影響でバスケットボールを始めました。その後枚方市立東香里中学校のバスケットボール部で活躍、フジゼロックスカップ都道府県対抗ジュニアオールスター2004に、大阪府代表で出場し全国2位の成績を収めました。地元の私立大阪薫英女学院高等学校に進学すると全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会でベスト4、3年次には主将として全国高校選手権ベスト8に進出しました。大学は系列校の大阪人間科学大学に進学し4年生の時には全日本大学バスケットボール選手権大会で準優勝しました。

大学卒業後の2012年トヨタ自動車に入社し女子バスケットボール部アンテロープスに所属すると、2013年の皇后杯では得意の3ポイントシュートを武器にチームの優勝に貢献。またリーグ戦ではルーキーながらプレーオフ全35試合に出場するなどの活躍を見せました。日本代表では2014年のワールドカップに出場し14位の成績。2015年はアジア選手権で優勝し、バスケットボール女子日本代表の3大会ぶりのオリンピック出場権を獲得献しました。2016年のリオ・デ・ジャネイロオリンピックでは、8位入賞。2018年には再び日本代表としてワールドカップに出場し9位の成績を収めました。

2020-21シーズンはトヨタ自動車女子バスケットボール部Wリーグ初優勝を置き土産に現役を引退。現在、トヨタ自動車株式会社スポーツ強化・地域貢献部に在籍しています。

